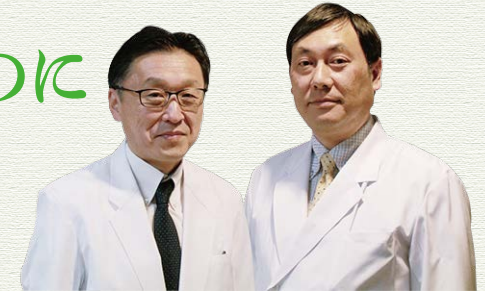
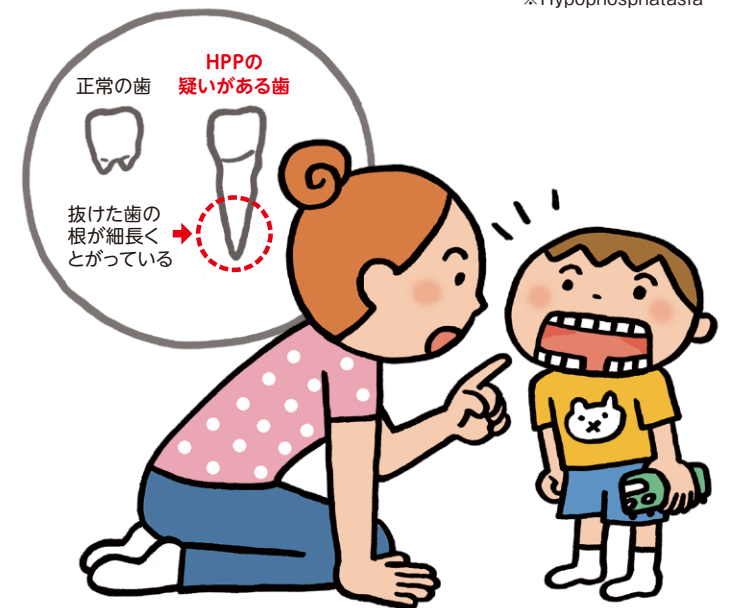


低ホスファターゼ症(HPP)という病気かも 4歳にもなっていないのに 乳歯が抜けた!?



まさか、乳歯が早く抜けるのが難病のサインだなんて…。珍しい病気とはいえ、乳幼児期の子どもの持つ親御さんに知っておいてほしい病気の1つに低ホスファターゼ症(HPP※)があります。「標準からちょっと外れた子どもの成長の違いに気づいてほしい」と、この病気の啓発に努める小児科と小児歯科の先生方にお話を伺いました。

※Hypophosphatasia



症状も病気が見つかるきっかけもさまざま

HPPとはどんな病気ですか？

塩原 HPPは、体の中で作られるアルカリホスファターゼという酵素の働きが低くなるために発症する病気です。アルカリホスファターゼは、カルシウムやリンなど骨を強くする物質の受け渡しをして、しっかりとした骨を作るのに深くかかわっています。この酵素の働きが十分でないとう骨が変形したり、もろくなったりします。

いつ頃どんなきっかけで見つかりますか？

塩原 発症の時期や症状は多様で、発見するきっかけもさまざま。胎児のエコー検査で胸の骨ができていないことがわかり、生まれた直後に人工呼吸器が必要になる場合もあります。

乳幼児期では、身長や体重の増加不良、ハイハイやつかまり立ち、歩き始めがほかの子よりも遅かったり、もう少し大きくなると歩き方のバランスが悪い、よく転ぶ、走る・ジャンプする・階段を上がるなどの動作が苦手といった特徴がみられます。でも、1つ1つはよくみられがちな症状でもあるため、こういう様子がみられたからといってすぐにHPPを疑うのは難しいかもしれません。

**乳歯が抜ける時期と形に注目
細長く先がとがっていたら相談を
親が気づく、わかりやすい症状は
ありますか？**

大須賀 HPPを疑うサインの1つが歯の症状で、乳歯が早く抜けてしまうことです。ふつう乳歯が抜けるのは6歳前後です。乳歯の根の部分吸収され、自然に抜けて大人の歯と入れ替わるのですが、それが4歳になる前に、根っこが残った状態で乳歯がポロッと取れてしまうのがHPPの特徴です。抜けた歯の根は、細長くとがった形をしています。早く抜けるのは、歯の土台となる骨が薄く弱いから、あるいは、セメント質が足りないからともいわれています。

そのうち永久歯が生えてくるのだから、そのままにしていはいけませんか？

大須賀 HPPの場合は、1本だけでなく、続けて何本も抜けることが多いので、抜けた

乳歯が生えそろう3歳くらいの時期から歯がいくつも抜けてしまうのはやはりおかしいと知っておいてほしいですね。気がついたら抜けた歯を持参して、すぐに歯科医に相談してください。

治療法が登場し医療費助成制度も整備されつつある

HPPの診断はどのように行われるのか？

塩原 通常の血液検査で、血液の中のアルカリホスファターゼの値を調べます。特別な検査ではありません。ただし、子どものアルカリホスファターゼの値は大人の正常値とは違います。大人の基準でみると見逃されてしまいますから、それを考慮して判断しなくてはけません。

脚の骨のレントゲン写真を撮ることもあります。歯だけに症状が出る人もいますが、HPPと診断がついたら、全身のチェックが必要だと思えます。今は特に目立った症状はなくても、そのうち骨折しやすくなったり、痛みが出たり、ひどくなると腎臓にカルシウムが沈着して腎機能が悪くなる患者さんもあります。

早期発見・早期診断が大事だということですね。

塩原 HPPは非常に珍しい病気で、今までは根本的に治療する方法はありません。

なでした。しかし、2015年に酵素を補う治療法が登場し、また、医療費のサポート体制も整ってきました。早くHPPと診断されれば、定期的に症状を確認し、適切なタイミングで適切な治療を受けることができます。

**病気のサインを見逃さないで
医師の連携で患者さんをサポート
今後の課題を教えてください。**

塩原 早期発見のために、乳幼児健診を活用できないかと考えています。たとえば、3歳児健診での歩行チェックに加えて、歯科検診の項目に乳歯の抜け具合も加えることはできないだろうか。HPPは遺伝に関係する疾患ですから、必要に応じて親御さんには遺伝カウンセリングも必要になるでしょう。どういった病気なのか、将来どうなるのか、この子が子どもを持つときどうすればいいのかなど、しっかり話ができる体制も必要です。

大須賀 HPPは珍しい病気ではありませんが、見逃されてきた軽症のケースが結構あるかもしれないと思っています。乳歯が早く抜けるというわかりやすいサインに気がついてほしいですね。また、歯科医にはもっとHPPのことを知ってもらわなくてはなりません。歩き方のバランスが悪い、痛がる、運動が苦手などの症状に加えて、乳歯が早く抜けたら、歯科医もHPPを疑って、小児科医に血液検査をお願いする

HPPの「歯」のサインを見逃さないで

HPPの歯の症状の特徴

- 4歳になる前に乳歯が抜けた
- 1本だけでなく複数本抜けた
- 抜けた歯の根が細長くとがっている

こんな症状も要チェック

- ☐ 発達や成長が遅れている
- ☐ 歩き方のバランスが悪い
- ☐ 走る・ジャンプが苦手
- ☐ 長い時間立ってられない
- ☐ 骨折しやすい

システムが必要です。これからは、小児歯科と小児科という同じ小児を診る医師同士の連携協力が大切だと思います。



塩原 正明 先生
松本歯科大学歯学部 小児科学 教授
同大学病院 小児科 科長
1986年福井医科大学(現福井大学)卒業。
1994年信州大学大学院修了後、
同大附属病院勤務などを経て、
2014年より現職。
日本小児科学会専門医



大須賀 直人 先生
松本歯科大学 小児歯科学講座 教授
1991年松本歯科大学歯学部卒業後、
同大学病院勤務を経て、
2011年より現職。
日本小児歯科学会専門医指導医

あとにすぎまがあとにしまします。この状態を続けていると、見た目が悪いだけでなく、噛む機能や発音、あごの発達にも影響が出てくる可能性があります。また逆に、すぎまがなくなつて、永久歯が顔を出すスペースがなくなつてしまいます。いずれ大人の歯が生えてくるから放っておけばいいというのは、大きな間違いです。

**乳歯が早く抜けてしまつ病気は
ほかにもありますか？**

大須賀 たとえば、歯が体内に入つてもそれを排除する作用がないために、持続的に歯肉が炎症を起こし早く抜けてしまつ、そういう病気も確かにあります。でも、